

いのち・くらし
子育て最優先に

原発ゼロ

日本共産党

ひたちなか市議会議員

山形ゆみ子



みなさんの声と願いを 市政に届けます

山形ゆみ子

< あいさつ >

市議会に送り出していただいて、4年がすぎようとしています。いつも温かい励ましをいただき、ほんとうにありがとうございます。

3月11日の大震災は、ひたちなか市においても甚大な被害を及ぼしました。わたしは、くらしと福祉を守る政治が、「災害にも強いまちづくり」につながると考えます。子ども、高齢者、障害者が安心して暮らせる温かい市政、若者が希望をもって働ける社会の実現に、みなさんの力をお貸してください。

今後とも、みなさんの願いが届く議会、税金のムダづかいをなくして、市民のいのちとくらしを守り、子育て応援の市政実現に全力でとりくむ決意です。ご支援をよろしくお願いいたします。

プロフィール

- 1950年宮城県蔵王町生まれ
- 宮城県立白石女子高を経て茨城大学工業短期大学部卒
- 国立茨城高専退職
- はなのわ保育園父母の会会長、高野小学校PTA副会長、いばらきコープ理事、ひたちなか母親連絡会事務局長、いばらき保健福祉友の会事務局長など歴任、現在市議会議員一期目
- 【資格取得】保育士、幼稚園教諭二種、ホームヘルパー2級
- 【趣味】山登り、映画鑑賞、読書
- 【家族】夫
- 【住所】ひたちなか市高野536-5
- 【電話】285-3774、携帯090-2528-6163

4年間、みなさんと一緒に実現しました

市民の代弁者として議会ごとに毎回発言し、願いを実現しました。また終了後必ず「市議会報告」を発行し市民のみなさんから「議会の様子、市政の状況がよくわかる」と喜ばれています。さらに議会報告会も開催してきました。

学校給食の民間委託をストップ

勝田地区での自校方式の継続で、作り手の顔が見える地産地消で地元食材の活用ができる温かい学校給食をまもりました。また調理部門の民間委託もストップさせました。

高齢者の健康診査の充実

後期高齢者医療制度がはじまってから、心電図、眼底、貧血検査が健診項目から外されました。高齢者を差別することだと主張し、3項目の健診が実現しました。

後期高齢者医療保険料の値上げをストップ

増加が予想される高齢者の医療費を削減することが一番の目的の後期高齢者医療制度。高齢者を切り捨てる制度の廃止を求め、さらに保険料値上げの計画に対して県内8千名の署名を集めて、値上げをストップさせました。

震災に強い水道水を実現

霞ヶ浦導水事業が完成後、市の井戸水利用をやめる計画でしたが、震災の教訓からこれまでの水源を守ることになりました。

子どもの医療費助成が拡大

子どもの医療費が小学3年生まで拡大され、本市では独自に入院の自己負担分が無料になりました。

大震災・原発事故

被災者支援に全力



6月28日、震災後3回目の要望書を市長に提出

震災時すぐに、近くの避難所で支援活動。市内の避難所に寄せられた要望（一人暮らし高齢者へ飲料水と食料のお届けなど）を3月15日、市災害本部に提案しました。またライフライン・放射能汚染の情報等を「ゆみ子ニュース」で7回発信。喜ばれました。

市民の力強い味方

生活相談にほん走



経済不況が続くなか、生活苦の問題、税金の滞納、介護、ひとり暮らしの高齢者など、緊急を要する相談が数多く寄せられ解決に力を尽くしてきました。また、カーブミラーの設置、側溝の蓋がけ、通学道路の整備など要望を実現しました。

山形ゆみ子の **お約束**

私たちも応援します

●東海第2原発の再稼働を認めず、廃炉を求める



原発導入の初期（70年代）から、「原発は確立したシステムではない」と言われてきました。福島原発事故は悔やまれます。一刻も早く地震国日本の原発は廃炉にし、安心して暮らせる故郷をつくるべきです。そのためにも山形ゆみ子さんの活動を心から応援しています。

元原子力研究所職員 馬場 信一

●国民健康保険税の引き下げ、介護保険料・利用料の軽減



国保税が高すぎて払えないと悲鳴があがっています。誰もが安心して医療・介護を受けられるよう負担軽減が必要です。また国は憲法25条を守るために国庫負担を増やすべきです。

まごころねっとわーくNPO法人代表理事 長谷 敏弘

●被災住宅修繕費の助成制度実施



被災した市民の生活再建を支援するのは行政の大きな役割。常陸太田市では住宅修繕に上限20万円、日立市では家屋や塀の修繕に上限10万円の独自補助を実施しています。ひたちなか市でできないことはありません。活躍に期待します。

元市議会議員 大和田喜市

●中学校卒業までの医療費無料化



お母さんたちが安心して子育てできるように、保育所の増設や子どもの医療費助成・無料化など、子育て支援の環境が充実するよう山形さんに期待しています。

はなのわ保育園副園長 宇田 貴子

●小・中学校の耐震化工事の早期実現を



大規模災害のときの避難所となる小・中学校の耐震化工事が遅れていると聞きます。今回も使用できないところがありました。子どもたちの安全のためにも、避難所としての役割を果たすためにも、急いで耐震化工事をすすめてほしいと思います。

新日本婦人の会員 川俣 久代

放射能汚染から 子どもを守るために

子どもは大人に比べて放射線に対する「感受性」が高いと言われています。無用な放射線をさげ、子ども達の健康をまもるために全力でとりくみます。



- 保育所、幼稚園、小・中学校に放射線測定器を配備すること
- 校庭・園庭など継続して放射線量の測定をおこない、放射線量の高い場所（ホットスポット）の除染対策をおこなうこと。
- 学校給食食材について放射性物質の検査をおこなうこと。
- 安定ヨウ素剤を公的施設（公民館、小・中学校等）に配備すること。また健診などで安定ヨウ素剤過敏症の検査をおこなうこと。

放射線測定器を購入しました。
計ってほしい方、ご連絡ください。



お母さん方といっしょに放射線量を計る山形議員

民主ひたちなか

2011年号外 山形ゆみ子さんの人柄や政策をお知らせします。

発行／日本共産党ひたちなか市委員会 (連絡先) ☎273-4288・272-2112

日本共産党